

2026年 7月 6日

セトラスホールディングス株式会社
代表取締役社長 木下 幸治

岐阜大学に共同研究講座「難燃材料共同研究部門」を設置
～次世代難燃剤の研究開発と人材育成に向けた協働を開始～

セトラスホールディングス株式会社(本社：香川県高松市、代表取締役社長：木下 幸治、以下「セトラス HD」)は、国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学(以下「岐阜大学」)と、2026年7月1日付で岐阜大学 高等研究院 Gu コンポジット研究センター内に共同研究講座「難燃材料共同研究部門」を設置し、革新的な難燃材料に関する協働開発を開始することをお知らせいたします。

設立の背景と目的

近年、電気自動車(EV)に搭載される蓄電池の発火・延焼リスクや、航空機・輸送機器における火災事故などを背景に、世界市場ではハロゲンフリー難燃(HFFR)システムをはじめとする安全性確保と環境負荷低減の両立が強く求められています。こうした社会的要請に応えるため、難燃材料の高度かつ定量的な燃焼評価および難燃設計の重要性が急速に高まっています。セトラス HD グループの協和化学工業株式会社は、これまで独自技術によりマグネシウム化合物の製品化で世界を牽引しており、特に環境負荷の低い非ハロゲン系難燃剤の水酸化マグネシウムの開発などにおいて高い技術力を有しています。

本協働では、当社が保有する無機材料および難燃剤に関する独自技術と、岐阜大学 高等研究院 Gu コンポジット研究センターがこれまで蓄積してきたコーンカロリメータ等を用いた燃焼挙動解析やコンポジット(複合材料)に関する専門的知見を融合させます。TG-DTA(熱重量・示差熱分析)や MS(質量分析)等を用いて燃焼挙動を詳細に解析することで、複雑な難燃メカニズムを解明し、新規難燃剤の設計指針を獲得します。これにより、従来品よりも優れた難燃性能と加工性を両立する次世代難燃剤の研究開発を推進します。

人材育成への貢献

本共同研究部門では、研究開発のみならず、次世代を担う人材の育成も重要な目的としています。燃焼・熱分解解析技術から難燃メカニズムモデル構築までの統合知形成過程を共有し、岐阜大学の教員・学生と当社若手研究員との間で、組織や分野の垣根を越えた活発な人的交流を図ります。専門性の高い分野における産学連携拠点として、社会的ニーズを踏まえた顧客志向の研究開発を加速できる高度な研究人材の育成に貢献してまいります。

共同研究部門の概要

名称	難燃材料共同研究部門
設置場所	岐阜大学 高等研究院 Gu コンポジット研究センター
設置期間	2026年7月1日～2028年6月30日(2年間)
研究内容	難燃材料の共同研究および人材教育。難燃のメカニズムについて、燃焼挙動の解析(コーンカロリメータ、TG-DTA&MS等)を実施し、難燃剤の設計指針の獲得ならびに新規難燃剤の研究開発を行う。
岐阜大学 研究代表者	仲井 朝美(高等研究院 Gu コンポジット研究センター センター長・教授)
セトラスHD 担当者	山地 理嗣(イノベーションセンター長付・専任課長)

当社(セトラスホールディングス株式会社)概要

会社名	セトラスホールディングス株式会社
設立	2022年8月
代表者	代表取締役社長 木下 幸治
本社所在地	香川県高松市磨屋町8番地1
事業内容	グループ経営管理、コンサルティング事業

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

セトラスホールディングス株式会社

担当：イノベーションセンター 山原 圭二

E-mail：contact-setolaslab@setolas.co.jp